

岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

◆市町村名

中津川市

◆配属部署

文化スポーツ部生涯学習スポーツ課

◆家庭教育支援員の役割

家庭教育支援員が「家庭教育支援チーム」メンバーであるということから、住民主体の家庭教育支援をますます強化することが期待できる。支援員が人と人のネットワークを作り、一人でも多くの保護者に学習機会を提供することで、裾野の広い家庭教育支援を実施する。

*中津川市では平成20年度より「子育てサポーター養成講座」開催。平成22年度、講座履修生による「家庭教育支援チーム」が発足し、家庭教育学級の企画・運営、集団託児を実施している。

◆主な活動

■人材育成

- ・子育てサポーター養成講座の開催
9月 第8期終了（受講生累計326人）
10月 第9期開始（新規受講生25人）
- ・子育てサポーター養成講座受講生が、講座終了後家庭教育支援チームの一員として、また地域住民として各地域で活躍



■学習機会の提供

- ・地区で実施の乳幼児学級の支援（13地区全て）
- ・幼小中学校で開催の家庭教育学級の支援（2園・23校）
- ・ネットワークフォーラムの開催（述べ65組133名の親子が参加）



■ネットワークの形成

- ・家庭教育推進会議の開催（行政担当課長参加）
- ・わくわくネットワーク会議開催（子育て中の保護者参加）
- ・合同会議（家庭教育推進会議とわくわくネットワーク会議）

◆成果

- 「人材育成」を通して生まれる家庭教育支援のよい循環
子育てサポーター養成講座の受講生が、講座終了後も家庭教育支援チームとして子育て中の保護者にかかわる機会があり、人材育成の好循環が生まれている。家庭教育支援員は、子育ての先輩と子育て中の保護者の自然なかかわりを作っている。
- 主体的に家庭教育に取り組む保護者を育成
13地区全てで乳幼児学級が開催され、そのうち60%は保護者自らが企画・運営をしている。家庭教育支援員は企画・運営の支援をしながら、保護者の「親育ち」を支えている。
小中学校で開催される「家庭教育学級」の運営支援を行い、学習の機会を提供している。
- 保護者と行政と地域をつないだ家庭教育力向上
支援員（家庭教育支援チーム）が、立場や環境の違う人と人とのつながりをネットワーク化したことで、保護者のニーズを行政に伝えたり、保護者同士がつながることによって親の孤立化を防いだり、地域が子育て中の保護者世代に目を向けたりする「地域で家庭教育を支える基盤」が強固なものとなってきた。

◆問い合わせ先

中津川市役所 文化スポーツ部生涯学習スポーツ課

0573-66-1111